

2007年11月12日(月)

山形新聞 朝刊

小中学生たち 気迫のプレー

新庄で空手道大会

県ジュニア選抜空手道選手権大会が十一日、新庄市体育館で開かれ、さまざまな流派の小中学生選手が気迫あふれるプレーを繰り広げた。

県内の道場やスポーツ少年団二十九団体から小学一年、中学三年生が出



白熱した試合を展開する選手たち
〓新庄市体育館

では、選手たちは相手の出方をうかがいながら、果敢に技を繰り出していた。

県空手道連盟(飛鳥宗一郎会長)が主催。一九九二年に本県で開かれた「べにばな国体」に向け、秋季大会を開催したのが始まり

場。延べ五百六十人が形と組手に分かれてトーナメントを行った。小学三、四年生以上が出場した組手だった。